

## 第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 バレーボール競技実施要領

### 1 競技規則

令和4（2022）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

### 2 チーム

全てのチームにおいて監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて12名以内とする。

#### （1）聴覚障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

#### （2）知的障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

#### （3）精神障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女混合でチームを編成する（試合中は少なくとも1名以上の女性プレーヤーが出場していなければならない。）。

### 3 競技方法

（1）試合は、聴覚障害の部（男女別）、知的障害の部（男女別）及び精神障害の部ごとにトーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。

（2）全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

（3）1セット25点のラリーポイント制とする。なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。

（4）第3セットでは、いずれかのチームが13点先取したときにコートの変更を行う。

（5）試合は、ワンボールシステムで行う。

（6）設定時刻を超える場合は直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は試合終了後の20分後にプロトコールを開始する。

### 4 服装等

（1）競技者番号は、1番から12番までとする。やむを得ない場合は、1番から

99番まで認める。また、ユニフォームに都道府県・指定都市名を表示し、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは、規定のものとする。

- (2) リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを着用すること。

## 5 試合球

- (1) 聴覚障害の部及び知的障害の部の試合球は、次の公益財団法人日本バレーボール協会検定球5号球とする。

ア 男子：ミカサ製カラーボール（V300W）

イ 女子：モルテン製カラーボール（V5M5000）

- (2) 精神障害の部の試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製 S3Y1500-WX：円周78±1cm、重量210g±10g）とする。

## 6 組合せ

組合せは、令和4（2022）年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

## 7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。  
(2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

## 8 その他

- (1) 監督会議は令和4（2022）年10月28日（金）に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。  
(2) ベンチには、選手、監督、コーチ、マネージャー以外は入ることができない。ただし、聴覚障害のチームにおいて、チームスタッフ3名とは別に手話通訳者1名が帯同する場合はこの限りでない。手話通訳者は、参加申込時に別に登録した者とする。  
(3) チームスタッフ3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、チーム・ベンチ・エリア後方の決められた位置にトレーナー1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、障がい者スポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。  
(4) 監督、コーチ、マネージャーは規定の各章を左胸部につけることとし、未着用の場合はベンチに入ることができない。  
(5) 監督、コーチ、マネージャーは統一された服装を着用すること。  
(6) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。  
(7) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。  
(8) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。